

鳥アド通信 No90 では、全日本アドの法人化に関する鳥アド会員の意見を掲載いたしました。

清水さんからの意見書「全日本青少年育成アドバイザー連合会に求められている課題」に対して、全日本アド連合会・峠会長からの回答が届いておりますが、法人化については、今後さらに理事会・総会での話し合いが続けられるそうです。

これらの経過は、次回の鳥アド総会・研修会での報告を待ちたいと思います。

新型コロナウイルス感染症の猛威のなかで、3回目の春をむかえました。大人の社会だけでなく、子どもたちの日常生活や環境も、大きな影響を被っています。

青少年育成アドバイザー活動も足踏み状態？です。



鳥取県青少年育成アドバイザー協議会
会長 西浦 公子



「さくらのつぼみもふくらんで、弟・妹とやってきた。～」小学校の入学式の定型句ですが、近頃のさくらは、入学式にはもうちらほら散り始めたり、散ってしまったかのようにしています。

3年前もこの台詞だったのですが、コロナで入学式も参観日も卒業式も参加できなくなっています。

また、とても楽しみにしている朝の読み聞かせの時間。「朝の10分の読み聞かせの時間は、絵本との出会いや読んでくれる人との出会いで、子ども達の心の安定につながる。」とのことで始まった南小学校のブックメイトの活動もカットされてしまい、私は、絵本を選ぶワクワク感や子どもとのふれあう時間がなくなっていました。

子ども達の育ちの場の提供・確保が今どんどん狭められています。一日も早くもとのびのびと学び遊べる時間が来ることを期待しながら、青少年育成アドバイザー活動とは????と考えています。

「自立のためのキーワード」

鳥取県青少年育成アドバイザー協議会

監事 芳村恵子



ある日の朝、目覚まし時計代わりのラジオより、まだ眠気から覚めきれない私の耳に飛び込んできた「今日は〇時〇分より自立のためのキーワードをお話して頂きます」というアナウンサーの声。ガバッと起き、ボイスレコーダーを準備した。

朝の支度をしながら、その時間にスイッチオン。横浜創英中学校校長 工藤勇一さんのお話が始まった。

学校の一番大切な目的は、「子どもに社会で生きていく力を身につけてもらうこと」。その自立のためのキーワードは「心理的安全性とメタ認知能力」である。

心理的安全性は、「失敗しても大丈夫だよ」「心配せずに話して。しっかり聞けよ」という雰囲気作りと、その中で安心して意見が言い合えること。そうすれば、理性的判断に繋がられ、積極的に行動できたりチャレンジできるようになる。

そしてメタ認知能力の認知は、考えたり感じたり覚えたり判断するなど人間が生きていく上に大事な力である。メタは高い次元で・もう一つ上のという意味で、もう一人の自分が自分を俯瞰して見ていることである。

身近な例として、アスリートが動画で撮った自分のホームを見直すことなど客観的に自分を観察することである。

次の例として「三日坊主」。誰もが三日坊主で終わってしまった時「自分が頑張らなかったから」と精神的な弱さを口にする。しかし人間の脳は、新しいことに対する回路は複雑で、100%誰でも「三日坊主」になるようにできている。どんな時に忘れるのか、どんな風に忘れるのかを考え、忘れるなら思い出せるようにすればいいのである。精神論でなく、続くように、思い出せるように具体的に考えればいい。「忘れる自分」を知っているのだから、精神論でなく客観的に自分を見つめ、工夫を考えることがメタ認知能力を高め、成長に繋がるのである。

子どものメタ認知能力を高めるためには、大人の役割が重要であるにもかかわらず、多くの大人が精神論で「頑張れ、頑張れ」とだけ言うのは真逆のことをしていることになる。

私は、子ども達やその家族に、性と生の健康学習で「自立」をキーワードに話しているため、大変興味深く聞いた。子どもの生きる力をつけるために、親・大人の役割をまた一つ考えさせられた。

メタ認知能力について、「読む力は生きる力：協明子著」という本を思い出した。その中の「読む力が思春期を支える」の中で、この能力は十歳前後で急速に発達するという。また、電子メディアばかりと接してきた子どもの中にはメタ認知能力が育ってこず、衝動的で計画性がない、持続力がない、最初に見つかった答えに飛びつく、同じ間違いを何度でも繰り返すなどの傾向を示す者が少なくないという。その結果「自省でなく、復讐と報復を求める世界」を作りだすと。最近の無関係な他者を巻き込む事件など、思い浮かべてしまう。

また、心理的安全性は、ただの慣れ合いや「空気を読む」といった日本的な仲の良さとは相反する側面があると、以前にも学んだことがある。Google 社が「チームのパフォーマンス向上のためには心理的安全性を高める必要がある」と述べ、成果を上げているという。

心理的安全性はまずは信頼関係の上に成り立つもので、「個性を認め尊重し合う環境作り」と、「安心して個性を発揮する」という両面が同時に存在することが必要である。どちらの立場にも立てることが、社会で自立して輝くために大切な力なのだろう。

子どもの大切な環境である親・家族はいうまでもなく、我々地域のおじさんおばさんも、心から心理的安全性を身につければ、青少年の相談にのったり、SOS を受け止められる存在になれると感じた。

「学校の一番大切な目的は、子どもに社会で生きていく力を身につけてもらうこと」という、芳村さんからの報告を受けて、学校とは、学校のありかたは？ と考えてみたくなります。
そんな中、こんな映画に出会いました。

詳しくはこちらもどうぞ。

鳥取県八頭郡智頭町西谷 627 とんぼの見える家
特定非営利活動法人 智頭の森こそだち舎
公式サイト: <http://shindensudbury.org>



熊本大学准教授 苦野一徳氏は、「コロナ禍のただ中では、みんなで同じことを、同じペースで、一律に進めていくことができない状況になっている。」

新型コロナウイルスの影響が続く学校教育界は、今、『学校は何のためにあるのか?』存在意義を問い直すことを余儀なくされている。」と、述べておられます。

こんな活動しています!!

湯梨浜町 ホエホエ隊 隊長：新 勝彦 さん

令和4年3月21日日本海新聞「はい！こちら通信部」に「ホエホエ隊」が掲載されました。

新聞記事の抜粋と写真をご紹介します。

湯梨浜町はわい長瀬のホエホエ隊は、PTA や地域・行政と協力して子どもたちに様々な体験の場を提供し、いっしょに活動することを目的として16年前に発足しました。(前進は「おやじの会」)

「ホエホエ」とは、姉妹提携都市・米国ハワイ州の言葉で仲間・友だちという意味で、一度参加したらみんな「なかま」だそうです。

羽合小学校の卒業式を前に、児童・保護者・保護者OB・学校関係者が、児童玄関前清掃活動を行いました。プランターの花の手入れや草取りをして、心を込めてきれいにした玄関を通過して、6年生は巣立って行きました。

心込め学校きれいに

卒業式前に羽合小「ホエホエ隊」



「今一番力を入れているのは、地域の就学前の子どもたち・小学生、そのお母様、お父様の心のケアをしていこうと心がけています。その子どもたち、保護者の方が次の地域を背負ってくれるのを夢描いています。」と言われる新さんは、他にもこんな活動をしています。

* 育児サークル・おはな：2年前より橋津区自治会で立ち上げた就学前の子どもたちと保護者のサークル。第一日曜日に定期的に公民館を開け、そこに行けば誰かがいて何かをして遊べる、自由に遊ぶ空間。時には、打楽器演奏会、収穫祭などイベントを組んでいます。

* 橋津子ども塾：湯梨浜町主催の「放課後子ども教室」を橋津区で応援。コロナ禍の中、新1年生を中心

に「学力保証」「地域の子どもは地域で育てる」をテーマに毎週水曜日、土曜日に開催。勉強が中心ですが、月1回ふる里探検、花壇清掃、工作と活動しています。

* 湯梨浜町子育てネットワーク「くぶくぶ」：湯梨浜町の育児サークルのネットワークで、若いお母さまたちが立ちあげました。(でも、会長は新さん) 湯梨浜町、東郷、泊、羽合地域 3カ所で月1回開催。緩やかなネットワークです。

原稿募集しています!

代表者会議の報告、あるいは各市町村での催し・取り組み、各個人での活動、意見、この頃思うこと、などなど、どうぞ気軽にSNS感覚で話題をお寄せください。

～ 編集後記 ～

「暗闇の中でしか見えぬものがある。暗闇の中でしか聞こえぬ歌がある…」先日終了したばかりのNHK朝ドラ、カムカムエブリバディの劇中時代劇で、サムライ：黍之丞(きびのじょう)が夜闇に見参するときのカッコつけた決め台詞である。はて、「暗闇の中でしか見えぬもの」とは何だろう。微かな灯りか、一条の光か。いずれも闇があるからこそみえる。

「朝顔は闇の底で咲く」というエッセイ集のなかで、アサガオの花が咲く謎が綴られている。アサガオは夜闇を経てこそ開花でき、24時間光を当てていると開花しないのだそうだ。アサガオにとって「闇」は必要不可欠なものらしい。

そして闇の中で、サムライ黍之丞はシャカシャカとカッコつけて剣をさばき、カッコつけて刃を構える。アサガオは夜闇のうちに養分を吸い上げ、じわじわと根っこをばびこらせ、ちよろりとツルを巻く。どちらも、暗いからといってじっとしてはいない。

活動制限を余儀なくされ、さらに会員の高齢化に悩む鳥アド連もやはり、一条の光を見い出すために「暗黒」の時間は必要なのだろうか。闇の中で、各自に独創的に、志を失わずに動き続けていければいいのだろうか。

今、世界中の人たちが新型コロナのパンデミックの中、暗中模索で戦うおかげで、免疫学・薬学・遺伝子学・働き方・学校のあり方・家族のあり方が大きく躍進し、変化していくのと同じように…。

「闇を知る」ことの大切さを感じる。